

令和七年第四回薩摩川内市議会定例会 施政等の概要

令和七年第四回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、先月八日、ウェブサイト「デジタル広報薩摩川内」の運用を開始しました。これまで紙媒体で通常版とお知らせ版の月二回発行していた「広報薩摩川内」を、スマートフォンやパソコンから、いつでもどこでも閲覧可能となり、参加を希望する催物への申込みもその場で行えるなど、利便性が大きく向上しました。また、多言語対応や読み上げ機能を搭載し、より多くの市民の皆様にとって使いやすい広報ツールとなっています。今後も、ダイバーシティの視点を取り入れながら、誰に対しても丁寧で分かりやすい情報発信に努めて参ります。

先月九日、日本郵便株式会社と「消防業務に関する協定」を締結しました。本協定は、自然災害や高齢者の一人暮らしにおける異常事態等への対応を強化するため、地域に密着した郵便業務と消防業務が連携し、本市の防災力向上を図ることを目的としています。郵便業務と消防業務の連携は九州では二例目であり、鹿児島県では初めての取組となります。本協

定を通じて、より一層、防災体制の強化を図り、市民の皆様の安全・安心な暮らしの実現に努めて参ります。

また、先月十四日から十七日までの四日間、私は、薩摩川内市公式訪中団の団長として、下園政喜市議会議長と共に、本市の友好都市である中国・江蘇省常熟市を訪問いたしました。常熟市とは長年にわたり、公式団、青少年スポーツ交流団等による相互の友好交流を重ねており、八年ぶりの公式訪中団の派遣となった今回の訪問では、本市並びに常熟市の友好交流の持続的な発展に向け、来年度の友好都市締結三十五周年事業の意見交換を行うとともに、平成二十九年から開始された川内港から常熟港への木材輸出の更なる拡大に向けた協議を行ったところであります。張偉常熟市人民政府市長の温かい歓迎を受け、更なる友好関係の構築につながる有意義な交流となりました。

川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業に関して、先月二十一日、薩摩川内市貿易振興協会が、自由民主党港湾議員連盟会長の森山裕衆議院議員を訪問され、私も同席して、「令和七年度末からの唐浜埠頭の確実な暫定供用開始」及び「早期完成」について要望を行いました。更に今月十二日には、私が会長を務め、下園政喜市議会議長、藤井廣明川内商工会議所会頭、岩下王武薩摩川内市商工会会長、港湾利用者等

の十二名で構成する川内港整備促進期成会により、安部賢国土交通省港湾局長に対しても、川内港の整備促進について強く要望しました。加えて、今月十七日には、鹿児島県に対し、更なる輸出入の拠点としての発展が期待される川内港の状況を踏まえ、現在、国・県により国際物流ターミナルの整備が進められている唐浜地区において、輸出入貨物の円滑な取扱いを行うため「川内港唐浜地区の指定保税地域の追加指定」について要望したところであります。

先月二十三日には、鹿児島県で初めての開催となる「第二十七回全国農業担い手サミット in かごしま」が二日間の日程で開催されました。サミットでは、「安心・安全な食料の安定供給」や「力強い日本農業の実現」などに積極的に取り組むことを掲げたサミット宣言が採択されたほか、県内六地域に分かれての情報交換会や、各地域の農場などを巡る研修会も実施されました。北薩地域においても、SSプラザさんで情報交換会が開催され、担い手間の知見の共有と交流の促進が図られました。

また、先月三十日、本年四月にオープンした薩摩川内アグリセンターで、園児たちによる、サツマイモ収穫体験が開催され、私も参加いたしました。この催しは、土に触れ、作物が育つ過程を学び、自然とのふれあいを通じて収穫の喜びを

体験することで、幼少期から幅広く農業に親しんでいただくことを目的としています。今後も、農業の大切さを学べる機会を継続的に提供する施設として、また、本市における農業就業者の確保・育成に資する拠点として、更なる発展を目指して参ります。

今月一日、フラワーヒルズ株式会社が、平成二十九年三月に閉校した藤川小学校の校舎を、本市の遊休公共施設等利活用促進制度を活用し「よいどころ藤川」として改修され、内覧会及びひまわりマルシェが行われました。校舎は、自立援助ホームや放課後デイサービスなどの福祉施設のほか、食堂や図書室等に改修されており、地域に新たな価値をもたらす施設として生まれ変わりました。関係者の皆様の御尽力に心より感謝を申し上げます。

今月五日、東京都内で、南九州西回り自動車道建設促進大会が開催され、早期完成に向けた気運を高めたほか、鹿児島県及び熊本県の両県関係者の方々と共に、関係省庁に対して要望活動を行い、地元の熱い思いを伝えたところであります。また、同月十八日には、石和田二郎国土交通省道路局次長に對して、南九州西回り自動車道阿久根川内道路の建設促進について要望を行いました。今後も、近隣自治体と一体となつて、一日も早い阿久根川内道路の供用開始と全線開通を目指

して参ります。

さらには、今月六日、垣下禎裕九州地方整備局長に対して、また、同月十二日には、中田裕人国土交通省都市局長に対して、土地区画整理事業の推進のための公共事業予算の確保と、国直轄の河川改修事業と連携して進める都市計画道路の整備推進に向けた公共事業予算の確保について要望を行いました。

今月十七日、霧島市において、豚熱ウイルスに感染した野生イノシシの死体が発見されました。県内で初の野生イノシシの感染事例となります。これを受けて、市では、家畜伝染病警戒本部会議を開催するとともに、市内養豚農家への注意喚起及び消石灰の無償配布を行いました。また、昨年、全国で猛威を振るった高病原性鳥インフルエンザについても、今月七日以降、県内において、野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されるなど、より一層の警戒が求められることから、市内養鶏農家への消石灰の無償配布等の対策を講じております。今後も、関係機関と連携を図りながら、徹底した防疫対策を実施して参ります。

今月七日、「薩摩川内市・鹿児島純心大学社会共創コンソーシアム」発足総会を開催しました。このコンソーシアムは、鹿児島純心大学が令和九年度に新設を予定している「情報学部社会共創学科」が、地域の産官学金と連携して取り組む、社会

共創に係る教育・研究活動を支援し、本市における情報科学人材の育成を図ることを目的としており、十七の機関・団体で構成しています。今後、地域の未来を担う若者たちが、学びと実践を通じて地域に根ざし、活躍できる環境づくりを着実に進め、また、構成団体等との連携を一層深めることで、地域経済の活性化、産業人材の確保、さらには市内高等教育機関等で学ぶ学生の定着促進など、地域における大きな相乗効果が創出されるよう積極的に取り組んで参ります。

また、同日、東部エリアの未来を考える意見交換会（東部エリア経済活性化事業）を市比野温泉ポケットパークで開催しました。本事業は、経済産業省の支援を受け、令和五年度から実施しているものであり、人口減少や経済の縮小が進む中、地域が抱える課題の解決と、将来につながる活力ある地域づくりを目的としています。今回の意見交換会では、地域の皆様と共に足湯に浸かり、東部エリアの現状や課題、将来像、活性化の方策について意見を交わし、地域の可能性を確認する貴重な機会となりました。

今月九日、藺牟田池がラムサール条約に登録され、本年十一月で二十周年を迎えることから、藺牟田池ラムサール条約湿地登録二十周年記念フェスタを開催しました。フェスタの一環として行われた記念式典では、環境保全活動に取り組

む団体の表彰を行ったほか、藺牟田池に生息する希少な動植物や豊かな自然環境を、かけがえのない宝として未来へ引き継ぐため、「藺牟田池環境宣言」として、藺牟田池の保全と持続可能な利用の推進を宣言いたしました。会場では、環境イベントや藺牟田池マルシェ、写真展のほか、小・中学生から応募のあった絵画・提言展の優秀作品が展示されるなど、小雨が降る中ではありましたが、多くの来場者でにぎわい、盛況のうちに終了しました。

先月二十四日、九州電力株式会社が原子力規制委員会に対し、川内原子力発電所への乾式貯蔵施設の設置に係る原子炉設置変更許可申請を行いました。また、同日、川内原子力発電所に関する安全協定に基づき、鹿児島県と本市に事前協議書の提出があり、九州電力株式会社に対し、申請内容について市民に分かりやすい情報提供を行うよう要請するとともに、市の部長級で組織している原子力政策部会に速やかに調査・研究を開始するよう指示したところであります。また、同月二十七日には、全国原子力発電所所在市町村協議会が本市で開催され、利根川雄大資源エネルギー庁原子力立地政策室長に対し、私自ら、核燃料サイクルの実現と原子力防災における避難経路の整備促進を強く要望いたしました。また、先月三十一日には、四十八地区コミュニティ協議会会長会議にお

いて、川内原子力発電所の乾式貯蔵施設の設置概要について説明を行ったところであります。

また、今月十日、私は、原子力規制庁を訪問し、大島俊之原子力規制部長と面談いたしました。川内原子力発電所の乾式貯蔵施設の設置に関する設置変更許可申請について、審査体制の強化と厳正な審査を要請するとともに、運転が四十年を経過する二号機についても、一号機と併せて川内原子力発電所の運転管理に関わる厳正な審査と電気事業者に対する監督指導を要望いたしました。また、経済産業省資源エネルギー庁も訪問し、佐々木雅人エネルギー・地域政策統括調整官に對して、六ヶ所再処理工場の早期竣工など核燃料サイクルの早期実現と、南九州西回り自動車道阿久根川内道路をはじめとした避難経路の整備加速及び川内宮之城道路の事業着手に向けた調査の促進の支援を要望いたしました。さらに、内閣府も訪問し、松下整政策統括官（原子力防災担当）に對して、原子力防災訓練の充実、避難経路の整備、避難計画及び防災体制の実効性向上のための継続的な見直しなど、原子力防災対策の強化に加え、避難経路整備の加速化等について要望いたしました。

今月から、市内の全小学校に對し、本市で育った木で製作した木製ベンチの贈呈を進めており、今月十一日には、川内



小学校での贈呈式に私も出席いたしました。この取組は、薩摩川内スマイルアクション五〇の「環境スマイル事業」の中の「こどもの木育推進事業」として実施したものです。今後、子どもたちが木や木製品に触れ、木のぬくもりを感じることで、森林を守り育てる気持ちを育む木育を積極的に推進して参ります。

このたび、本年三月に森林認証を取得した市有林から、認証材として木材を出荷できる運びとなりました。県内において、森林認証を取得している公有林から、ヒノキ材を認証材として製材・加工所へ出荷するのは、初めてとなります。今後も、適切な森林管理から素材生産、加工・流通、再造林まで、森林資源が循環する体制づくりを通じて、林業の振興を図って参ります。

今月二十日及び二十一日、私は、「九州・台湾クリエイティブカンファレンス in 熊本」に出席し、日本、台湾及びアメリカの産官学金のキーパーソンの方々が多数出席される中、本市におけるサーキュラーエコノミー（循環型経済）の取組について紹介いたしました。この取組は、令和五年十一月に本市で開催した「九州・台湾クリエイティブウィーク in 薩摩川内」を契機として、経済交流の促進と経済人材のネットワーク構築が進展したものであります。その成果として、国

内最大級のＡＩデータセンター開設に向けた準備法人が台湾企業と日本企業の共同により、サーキュラーパーク・川内（火力）発電所跡地内に設立されることとなりました。今後も、友好都市との文化・経済交流や、国際的な経済交流イベント等を通じて、新たな人的ネットワークの構築を図り、人流・物流の活性化及び経済の好循環につなげて参ります。

今月二十三日には、鹿児島県指定の無形民俗文化財である久見崎盆踊り「想夫恋」が、コロナ禍や踊り手の高齢化等により中止が続いておりましたが、保存会の皆様の会員募集の取組や薩摩川内スマイルアクション五〇の「社会スマイル事業」に掲げた、さつませんだいスマイル応援隊のモデル事業としても実施され、滄浪地区外からも三味線の奏者と踊り手を確保して、復活を遂げました。地域の伝統文化の継承に向けた関係者の皆様の御尽力に心より敬意を表します。

また、今月二十四日からは、新たなスマイル応援隊のモデル事業として、入来地域に伝わる神事芸能で、五穀豊穡・無病息災を祈願して奉納される「入来神舞」の踊り手の募集を開始しております。今後も、地域外から活動に参加し、各地域を応援してくださる方々とのつながりを築き、関係人口の創出を図りながら、担い手不足の解消、地域社会の維持、そして地域の活性化を目指して参ります。

組織機構見直しにつきまして、第三次薩摩川内市総合計画前期基本計画及び薩摩川内市スマートデジタル計画等に基づき策定した、「市役所改革取組方針（Ver.二・〇）」により、来年四月の部局の再編等に取り組みます。これは、少子化対策・子育て支援の強化に加え、組織・業務の効率化、市役所サービスの実を充実を目指すものであります。

次に、今回の補正予算案の概要について御説明いたします。今回の補正予算案については、一般会計において、十億九千九百十五万五千円の増額補正を、八特別会計において、七億七千四百五十五万三千円の増額補正を、また、下水道事業会計に係る継続費の変更を提案したものであります。

一般会計につきましては、歳出において、障害者福祉サービスの利用者の増加に伴う給付等の経費や、小・中学校におけるトイレの洋式化及び特別教室への空調設置、施設の維持管理等を目的とした基金の積立に係る経費等を増額しております。

歳入においては、収入見込みにより固定資産税を増額したほか、補助事業の内示等に伴う国県支出金や繰越金の増額等を行っております。

各特別会計におきましては、執行見込み等により所要の経費の調整を行っております。

なお、今定例会におきましては、補正予算案のほか、薩摩川内市男女共同参画基本条例の一部を改正する条例の制定についてをはじめとする各議案について御審議をお願いしております。

提案いたしました各議案等の細部につきましては、主管部・課長から説明させますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。